

# 上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

教育文化

令和6年度事業

## 1. PLAN（計画）

分野	5-1 生涯学習	担当課
施策の展開方向	<p>① 生涯学習機会の充実</p> <p>●社会教育委員会議を核として、生涯学習機会の充実を目指して生涯学習体制の構築に努めます。</p> <p>●各地区や団体の多彩な生涯学習活動の充実に努めます。</p> <p>●文化創造の推進にあたり、文化活動の場を確保するとともに、子どもや現役世代も参加しやすい仕組みの構築に努めます。</p> <p>●町民の教養を深めるとともに、健康増進等を図るため、文化教室の魅力向上や受講促進に努めます。また、作品等を披露する場として文化協会等と連携しながらペガサスホールを活用していきます。</p>	社会教育課

## 2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
生涯学習事業への参加者数（年間）【人】	-	231 対前年増減→	233 +2	379 +146	483 +104	475 -8			280
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
--------------	------------	-------------------

取組① 行政・地域・家庭・学校・民間との連携体制の構築	総合戦略	-
-----------------------------	------	---

<p>【取組の概要（背景・目的等）】 社会教育委員会議（年3回）を核として、生涯学習機会の充実を目指して生涯学習体制の構築に努めます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 令和6年度の取組として、「高齢者・婦人学級」は年9回の講座を実施しました。今年度は、7月に実施した片岡城についての歴史講演会を年間予定に組み込むことで、上牧町の歴史についての教養を深めることができました。その他、人権学習や教材実習（フラワーアレンジメントなど）、社会見学などの様々な講座を実施しました。</p> <p>「歴史を学ぶ講座」は、『上牧町ゆかりの歴史人物』をテーマに、町内在住の元放送作家と役場職員である文化財専門員の2人の講師による講演を年9回行いました。</p> <p>「上牧歴史ガイドボランティアの会」は、奈良県ウォーキング協会からの依頼で片岡城跡のガイドを行ったことに加え、河合町の老人ホーム入所者が上牧町内の散策に来られた際に案内を行いました。月1回の研修会も実施しました。</p> <p>また、ペガサスフェスタやさくら祭りでも町内の文化財をPRするなど、啓発活動にも努めました。</p> <p>「家庭教育親子講座」は、ミニ銅鐸作りやフラワーアレンジメントを行い、親子で学ぶ楽しさを学んでいただき、また、さくら祭りでは令和5年度に引き続き『春の彩りコンサート』を実施しました。</p> <p>「家庭教育講座」は保護者などを対象に、子どもの成長や関わり方についての講演を2回実施しました。</p> <p>その他、社会教育委員には各講座への積極的な参加を図ることができました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・生涯学習推進事業：1,432千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 毎年度、同じような内容の講座にならないようにしたり、開催する度に参加者を募る講座では、案内チラシのデザインで目を引くようなものを作成するなど、工夫することで多くのかたに様々な講座に参加していただけたので、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、社会教育委員会議（年3回）を核として、社会教育委員による各講座への参加を図りながら、生涯学習機会の充実を目指して生涯学習体制の構築に努めます。</p> <p>また、各講座とも、アンケート調査の結果を踏まえて、ニーズに合った内容の講座を検討して実施します。</p>
--	---	--

取組② 持続可能な生涯学習体制の構築	総合戦略	-
--------------------	------	---

<p>【取組の概要（背景・目的等）】 社会教育委員会議（年3回）を核として、生涯学習機会の充実を目指して生涯学習体制の構築に努めます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 持続可能なものとしていくためには、講師陣の人材確保も必要であるため、課が一丸となって取り組み、多角的・能動的なアプローチにより、充実した人材確保につなげることができました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 講師の確保に努め、新たな分野の講師陣を増やすことができましたので、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、講師の人材確保に努めます。</p>
---	---	---

# 上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

教育文化

令和6年度事業

## 1. PLAN（計画）

分野	5-1 生涯学習	担当課
施策の展開方向	① 生涯学習機会の充実 ●社会教育委員会議を核として、生涯学習機会の充実を目指して生涯学習体制の構築に努めます。 ●各地区や団体の多彩な生涯学習活動の充実に努めます。 ●文化創造の推進にあたり、文化活動の場を確保するとともに、子どもや現役世代も参加しやすい仕組みの構築に努めます。 ●町民の教養を深めるとともに、健康増進等を図るため、文化教室の魅力向上や受講促進に努めます。また、作品等を披露する場として文化協会等と連携しながらベガサスホールを活用していきます。	文化振興課

## 2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
文化教室全受講者数（年間） 【人】	-	123 対前年増減→	149 +26	166 +17	169 +3	187 +18			180
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)	総合戦略
<b>取組① 町民の自己表現の場の提供</b> 【取組の概要（背景・目的等）】 多種多様な自己表現の場、作品の展示場所を提供できるように文化教室の講師、文化協会と連携しながら、文化祭での発表、展示を行います。 【実施内容・成果（R06）】 令和6年度も、文化教室の魅力を発信できるように重点を置き、作品の展示、会場内のレイアウト配置を行いました。 また、作品の展示では、講師の意見を基にして、作品の多種多様な表現ができるように間接照明を設置し、各教室が独自の色布を持参することで、作品の個性を引き出す展示を行い、多くのかたに作品を見ていただきました。 【事業費（決算額：R06）】 ・文化祭事業：765千円	A	【評価の理由・根拠】 文化祭では、多くのかたに各教室の作品を見ていただき、文化教室の周知を行うことができたため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 多くのかたに各教室の作品を見ていただくとともに文化教室の周知も行い、関係団体と連携を密にしながら、引き続き情報発信に取り組んでいきます。	-
<b>取組② 文化教室の魅力向上及び受講促進</b> 【取組の概要（背景・目的等）】 受講生の高齢化が進んでおり、受講生が取り組みやすく健康的で、集い語りあえる場を創出することが求められています。 【実施内容・成果（R06）】 令和6年度も文化教室では、13教室を開講し、各教室年間17回の開催を行いました。 また、受講者数を増やすため、文化教室案内チラシを各教室ごとにわかりやすく紹介するように作成し、周知を行うことで、受講促進を促しました。 文化教室の魅力向上や受講促進につながる新規教室の開講また教室の運用方法など近隣の市・町の教室を参考にしながら、より良い教室作りに取り組みました。 【事業費（決算額：R06）】 ・文化教室事業：960千円	B	【評価の理由・根拠】 関係団体や受講生から新規の教室を開講してほしいとの要望があります。 また、現況においては、受講後3年間は同じ教室に参加できないため、期間の短縮や撤廃を求める声も少なくありません。 今後は、他市町村を参考に研究・検討していく必要があるため、評価をBとしています。 【今後の取組方針】 関係団体や受講生からの要望を踏まえ、文化教室の魅力向上や受講促進につながる新規の教室の開講や教室の運用方法など、他市町村の教室を参考にし、研究・検討しながら、より良い教室作りに取り組んでいきます。	-

# 上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

教育文化

令和6年度事業

## 1. PLAN（計画）

分野	5-1 生涯学習	担当課
	② 青少年の健全育成	社会教育課
施策の展開方向	●地域で子どもを育てる活動を推進するとともに、青少年に様々な活動や学習の機会を提供し、あわせて指導者の養成に努めます。	

## 2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
ジュニアリーダー研修新規登録者数（年間）【人】	○	-	16	7	11	8			10
		対前年増減→	+16	-9	+4	-3			
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
<b>取組① 青少年の生涯学習機会の確保と次世代の育成</b> 【取組の概要（背景・目的等）】 青少年の健全な育成を目的に実施します。元々は、地域の子ども会で高学年の児童にグループを指導する力を身につけてほしいというリーダー養成を目的に、約30年前に始まりました。 【実施内容・成果（R06）】 令和6年度は、野外活動3回（洞川地区で川魚つかみ取り体験・鍾乳洞見学、馬見丘陵公園やならまちを歴史散策）と宿泊研修、工作などの研修7回を実施しました。 野外活動時には、班行動により中学生の生徒が小学生の児童をリードするなど、お互いに助け合う姿が見られ、様々な経験を通して充実した時間を過ごすことができました。 【事業費（決算額：R06）】 ・ジュニアリーダー研修事業：270千円	A	【評価の理由・根拠】 令和6年度の新規登録者数は、令和5年度に比べ減少していますが、新規募集対象の小学校5年生以外の小学校6年生にも範囲を広げ募集を行いました。また、研修参加者にも随時声掛けを行い、参加者の確保に努めましたので、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 今後も引き続き、野外活動や宿泊研修などを継続的に実施していく予定です。 また、ジュニアリーダー研修生の中には、小学校卒業と同時に辞めてしまう子どもが多数いることが課題として挙げられるため、募集時の案内チラシの内容をブラッシュアップするなど、参加者の確保に努めます。

# 上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

教育文化

令和6年度事業

## 1. PLAN（計画）

分野	5-1 生涯学習	担当課
	③ 多世代交流機会の創出	社会教育課
施策の展開方向	<p>●優れた能力・技術、豊富な知識・経験を有する高齢者と子どもや若者が交流する機会を創出することで、高齢者が技能を発揮する場を提供するとともに、子どもや若者の学びに対する関心や興味、好奇心の喚起を図ります。</p> <p>●学校との連携を図り、子どもたちの教育について、主体となる学校教育に加え、地域全体で支援する体制づくりを進めます。</p>	

## 2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
「まきっ子塾」学習アドバイザー登録者数（年間）【人】	-	61 対前年増減→	58 -3	68 +10	77 +9	65 -12			60
学校支援ボランティア登録者数（年間）【人】	○	238 対前年増減→	217 -21	254 +37	243 -11	232 -11			250
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
<b>取組① 多世代交流による学習機会の創出</b>		総合戦略 -
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 学習習慣や生活習慣を身につけるとても大切な時期でもある小学1年生から3年生を対象に、家庭学習の定着や保護者の負担軽減を目的としています。水曜日の放課後1時間程度、在籍学校の特別教室などを利用して、学習アドバイザーが宿題や自習活動の支援を行っています。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 （令和6年度参加児童：148名（3校合計）実施回数：25回（3校平均））退職された教員などを学習アドバイザーに任用することで、高齢者の生きがいづくり、地域づくりの場となっています。令和6年度は学習アドバイザーを希望した学生が15名でした。教員を目指す学生にとっては、退職した教員などと交流することにより、学習指導でのノウハウや児童への対応、将来についての相談など貴重な機会もでき、多世代交流が図られていると考えます。 （大学生の主な在籍大学名：奈良県立大学・畿央大学・帝塚山大学）</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・学校支援向上事業：5,222千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 まきっ子塾を通して、学習アドバイザーの多世代交流が図られていると考えますので、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 学習アドバイザーがまきっ子塾以外の事業（社会教育委員をはじめとする各委員会委員・フリースクール・歴史ガイドボランティアなど）へも積極的に参画していただき、多世代と交流しながら、活躍する場と機会を創出する体制を引き続き構築していきます。</p>
<b>取組② 学校支援事業の運営</b>		総合戦略 基本目標.1
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 学校・幼稚園と連携を図り子どもたちの教育について主体となる学校教育に加え、地域全体で支援する体制づくりを進めるために学校支援のボランティア活動を行う「学校・地域パートナーシップ事業」を推進していきます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 主な活動として図書支援・環境支援、音楽科や家庭科を補助する授業支援などを行いました。小学校では登下校見守り支援も行い、児童の安全を守るため多くのボランティアに活動いただきました。また、令和6年度は、環境支援活動中の事故が近年で増えてきていることから、機械などの取り扱いに関する講習会を実施し、安全意識の向上を図る取組も行いました。</p> <p>地域人材の確保については、ボランティア募集のチラシを工夫し、毎年新しいデザインにすることで、目を引くものとなるよう努めました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・学校・地域パートナーシップ事業：954千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 令和6年度のボランティア数は令和5年度に比べ減少していますが、各学校コーディネーターにより、ボランティアのバランスを考えた調整をしていただいたことで、限りある人材の中でも工夫して活動を維持できていると考えます。 また、新しい取組として、ボランティアのための安全講習会を実施することができましたので、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、地域の教育力の向上と地域ぐるみで学校教育の充実と活性化を図ることを目的に、学校支援ボランティアによる支援活動を継続していきます。 また、ボランティアの人材確保にも努めます。</p>

# 上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

教育文化

令和6年度事業

## 1. PLAN（計画）

分野	5-1 生涯学習	担当課
施策の展開方向	④ 子どもの読書活動の推進	文化振興課
	●すべての子どもが自主的に読書活動できるよう、本の楽しさを知る機会と本との出会いの場を提供します。	

## 2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
図書の団体貸出を行う学校数（年間）【校】	○	1 対前年増減→	2 +1	3 +1	4 +1	4 ±0			5
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
<b>取組① 学校と連携した読書活動の推進</b> 【取組の概要（背景・目的等）】 学校と図書館が連携し、子どもが自由に本を選び、読書を楽しめる機会を創出していきます。 【実施内容・成果（R06）】 図書の団体貸出、図書館訪問の受け入れや読み聞かせ、学童保育所でのブックトーク（1つのテーマに沿って数冊の本を紹介）を実施しました。 図書の団体貸出については、保育所・幼稚園・小中学校・学童保育所・養護学校へと貸出しました。 また、校園長会・教頭会で、団体貸出についての周知を行い、教科書に沿ったおすすめ本リストなどを配布しました。 図書館訪問においては、見学以外に絵本の読み聞かせを行い、子どもたちが好きな本を自ら選んで借りる姿が見られました。訪問後におうちのかたと来館することもあり、利用促進へとつなげることもできました。 これらの取組を通して、子どもと本・子どもと図書館をつなぐきっかけづくりができたと考えます。 【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし	A	<b>【評価の理由・根拠】</b> 図書館訪問の受入回数が保育所、幼稚園で増加傾向にあり、学校への団体貸出冊数も374冊から532冊に増加したため、評価はAとしています。 <b>【今後の取組方針】</b> 今後も引き続き、学校と連携した読書活動の取組を推進していきます。 学校への団体貸出を継続していくとともに、さらなる周知も行っていきたいと考えています。 また、図書館ホームページの蔵書検索システムの利用について、小中学校へ啓発することで、子どもと図書館をつなぐ機会を提供していきたいと考えています。
<b>取組② 「おはなし会」の実施</b> 【取組の概要（背景・目的等）】 地域と図書館が連携し、子どもが気軽に本に親しみ、本に出会う機会を提供していきます。 【実施内容・成果（R06）】 ボランティアグループ「ピーターパン」の協力のもと「夏のお楽しみ会」「クリスマス会」というイベントも含め、33回開催し、264名の参加がありました。おはなし会で親しくなった保護者や子どもたちが誘い合って参加する姿も見られました。 また、開催チラシの配布やSNSを活用した周知活動も行いました。 この取組を通して、子どもたちや保護者に本の楽しさを伝えるとともに、地域と図書館をつなぐきっかけづくりができたと考えます。 【事業費（決算額：R06）】 ・「ピーターパン」おはなし会等開催事業：27千円	A	<b>【評価の理由・根拠】</b> 地域と図書館が連携し、子どもと本をつなげることができたため、評価はAとしています。 <b>【今後の取組方針】</b> 今後も引き続き、ボランティアグループ「ピーターパン」の協力のもと、おはなし会を実施していきます。 また、興味を引くような開催チラシの作成やSNSを活用した周知活動を行い、子どもが本と出会う機会を提供していきたいと考えています。

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
<b>取組③ 読書環境の整備</b>		総合戦略 -
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 読書環境の整備を行い、子どもが利用しやすい図書館づくりを進めていきます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 児童書の充実や子どもたちが興味をもつようなPOPの作成や本の展示を行い、SNSで情報発信も行いました。 この取組により、子ども達に新たな本との出会いの機会を提供することができたと考えます。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p>	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</p>	<p>【評価の理由・根拠】 児童書の充実や子どもたちが興味をもつようなテーマで本の展示を行い、子どもが利用しやすい図書館づくりを進めていくことができたため、評価はAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、読書環境の整備を行い、子どもが利用しやすい図書館づくりを進めていきます。 子どもが手に取ってみたいくなるようなPOPの作成や本の展示を行い、展示本コーナーのSNS掲載についても取り組んでいきます。</p>

# 上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

教育文化

令和6年度事業

## 1. PLAN（計画）

分野	5-2 生涯スポーツ	担当課
施策の展開方向	① スポーツ施設の整備	社会教育課
	●グラウンドやテニスコート、町民体育館等のスポーツ施設の適切な維持・改修に努めます。	

## 2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
スポーツ施設利用申込件数（年間）【件】	-	4,062 対前年増減→	3,375 -687	3,450 +75	4,251 +801	3,986 -265			4,300
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
<b>取組① 計画的な維持・改修によるスポーツ施設の長寿命化</b> 【取組の概要（背景・目的等）】 気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しめるまちづくりを行っていくためにスポーツ施設の長寿命化を目指しています。 【実施内容・成果（R06）】 桜ヶ丘東公園グラウンドのトイレ改修工事を実施しました。また、第二町民体育館西側駐車場の整地及びアスファルト舗装工事を実施しました。 【事業費（決算額：R06）】 ・桜ヶ丘東公園グラウンドトイレ改修事業：13,035千円 ・第二町民体育館西側駐車場整備事業：2,500千円	A	【評価の理由・根拠】 体育施設（体育館・町民プールなど）の経年劣化や老朽化に伴う改修の計画的な実施が課題となつていますが、令和6年度の実施内容の成果としての評価はAとしています。 【今後の取組方針】 上牧町個別施設計画に基づき、施設の健全化を検討しながら適正管理を行う必要があると考えています。

# 上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

教育文化

令和6年度事業

## 1. PLAN（計画）

分野	5-2 生涯スポーツ	担当課
	② スポーツ活動の振興	社会教育課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>●誰もが気軽に楽しめるニュースポーツの普及に努めます。</li> <li>●2016年（平成28年）に設立された町民が主体となる「総合型地域スポーツクラブ」と連携し、幅広い年齢層の町民がスポーツを行うことができる機会を確保します。</li> <li>●地域において、トップスポーツチームやトップアスリートと触れ合う機会を創出するなど、地域やスポーツの活性化に努めます。</li> </ul>	

## 2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
ニュースポーツ備品貸出件数（年間）【件】	-	-	10	2	6	16			50
		対前年増減→	+10	-8	+4	+10			
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)	総合戦略
<b>取組① 各種スポーツ大会やスポーツ活動などの事業の推進</b> 【取組の概要（背景・目的等）】 町民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも、気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しめるまちづくりを目指しています。 【実施内容・成果（R06）】 上牧町スポーツ協会主催事業については、町長杯及び会長杯ソフトボール大会（雨天中止）以外はすべて実施することができました。 スポーツ推進委員主催事業については、6月の子どもウォーキング及び11月のさわやかウォーキングは実施することができました。 体育事業のスポーツ教室については、ストレッチ体操を12回開催し参加者は10人でした。町民プールについては、入場制限なしで開催しました。 上牧町主催事業でスポーツフェスティバルを開催し336人のかたに参加していただきました。 【事業費（決算額：R06）】 ・スポーツ協会補助金事業：873千円	A	【評価の理由・根拠】 実施内容のとおり事業を実施することができ、町民にスポーツやレクリエーションを楽しんでいただくことができたため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 スポーツ推進委員主催事業については、子どもウォーキング・さわやかウォーキングを行います。体育事業のスポーツ教室（ストレッチ体操）については、令和7年度も4月に募集をして開催します。	-
<b>取組② スポーツ団体と連携したスポーツ活動の基盤づくり</b> 【取組の概要（背景・目的等）】 「スポーツ少年団」「総合型地域スポーツクラブ」などと連携し幅広い年齢層の町民がスポーツを行うことができる機会を確保できるよう、取り組みます。 【実施内容・成果（R06）】 上牧町主催事業のスポーツフェスティバル（町内スポーツクラブ登録団体及びスポーツ少年団）の協力のもと、バンビシャス奈良スクールコーチによるバスケットボール教室及び元Jリーガーによるサッカー教室ブースを設けて開催することができました。 【事業費（決算額：R06）】 ・スポーツフェスティバル開催事業：1,799千円	A	【評価の理由・根拠】 少子化などの影響でスポーツ少年団員数が減少している中で、スポーツ少年団の周知や関心を高めることが課題となっています。令和6年度で広報折込チラシでの紹介、各小学校への募集チラシの配布をした結果、団員の入団があったという報告がありましたので、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 令和6年度と同様、広報の折込チラシに町内スポーツ少年団の紹介をするほか、町内の各小学校にスポーツ少年団募集チラシを配布します。	-
<b>取組③ ニュースポーツの普及啓発活動の実施</b> 【取組の概要（背景・目的等）】 町民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも、気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しめるまちづくりを目指しています。 【実施内容・成果（R06）】 令和6年度は町主催のペガサスフェスタ2024において、ニュースポーツブースを設けて、スカットボール、BAGGOなどのニュースポーツを参加者のかたに体験していただきました。 【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし	A	【評価の理由・根拠】 毎年、ペガサスフェスタでニュースポーツ体験をしていただく効果があって、用具の貸出件数が増えてきていますので、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 引き続きニュースポーツブースを設けて体験を行い、町民のかたに普及していきます。	-

# 上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

教育文化

令和6年度事業

## 1. PLAN（計画）

分野	5-3 人権教育	担当課
施策の展開方向	① 人権教育の推進	社会教育課
●規範・人権意識の醸成に向け、学校・家庭・地域が一体となった道徳教育や福祉教育、人権教育を推進します。 ●ヒューマンライツセミナーや指導者研修会等を開催し、人権学習の継続と発展を推進します。		

## 2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
ヒューマンライツセミナー新規受講者数（累計）【人】	○	-	-	89	73	141			50
		対前年増減→	±0	+89	-16	+68			
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
<b>取組① 学校・家庭・地域の連携による人権教育の推進</b>		総合戦略 基本目標.1
<p>【取組の概要（背景・目的等）】</p> <p>ヒューマンライツセミナーを開催し、人権学習の継続と発展を推進します。指導者研修会を実施し、各関係機関の代表者を中心に参加を呼びかけ、実践力を高める研修会を実施します。</p> <p>【実施内容・成果（R6）】</p> <p>①11月21日（木）</p> <p>ペガサスホールでヒューマンライツセミナーin上牧を開催しました。                  内容 「よくいきはじめ～いつまでも自分らしく～」                  講師 佐々木慈瞳さん（公認心理師）                  公認心理師として、医療や介護の現場で出会って来られたたくさんの人々との経験談や、感動の場面を語っていただきました。「自分の生き方が誰かの生き方をささえている」「自分らしく善くいきることが周囲に重なっていく」という主題を映像や事例を交えて紹介され、涙をさそいました。町PTA協議会と共催して実施しました。                  アンケート満足度96%で、人権教育の講演会としては、過去最高の365人の参加者を記録しました。                  参加者：365人（令和3年度：141人、令和4年度：236人、令和5年度：260人）</p> <p>②2月18日（火） 役場西館3階で「指導者研修会」を開催しました。内容「子どもの困り感に寄り添う～学校・家庭変われますか～」                  講師 中村衛さん（奈良県家庭教育支援講師）                  家庭教育講座と共催して実施しました。県教育委員会のフレキシスクール担当の中村さんに、不登校児童・生徒の実態から、求められている学校や家庭の変革について提示していただきました。さらに、子どもの困り感の捉え方や「認めること」の大切さ、声のかけ方まで、具体的な場面をとおして研修しました。                  参加者 47人</p> <p>【事業費（決算額：R6）】</p> <p>・人権教育推進事業（ヒューマンライツセミナーin上牧・指導者研修会）：153千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】</p> <p>KPIとして設定した「初めて参加した」人数が141人であり、各団体からの参加だけでなく、広報や自治会回覧版での呼びかけにより、一般参加が178人もあり、町外からの参加も30人と多く集めることができました。全体参加者も毎年最高を更新し続けているため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】</p> <p>人権学習の継続と発展を推進するため、引き続き、ヒューマンライツセミナーin上牧や指導者研修会の実施を予定しています。ヒューマンライツセミナーin上牧については、秋頃に映画「破戒」の上映を予定しています。</p>

# 上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

教育文化  
令和6年度事業

## 1. PLAN（計画）

分野	5-4 学校教育	担当課
	① 学習環境の充実	教育総務課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>●安全安心で快適な学習環境を提供するため、計画的に設備・備品等を整備します。</li> <li>●学校現場のニーズを勘案し、時代に対応したICT環境の充実を図るとともに、アナログとの融合を図り、デジタル化の推進による弊害に対応した学習環境の確保に努めます。</li> <li>●「上牧町学校適正化基本計画」に沿って、望ましい学校教育環境の整備に取り組みます。</li> </ul>	

## 2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
教員向け研修開催回数（年間） 【回】	○	2	1	-	-	-			2
		対前年増減→	-1	-1	±0	±0			
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
<b>取組① 学校施設及び備品等の整備</b> 【取組の概要（背景・目的等）】 子どもたちが安全かつ快適に学習できる環境を確保するため、適切な学校施設及び備品などの整備を推進していきます。 【実施内容・成果（R06）】 適切な学校施設及び備品などの整備を推進するにあたり、令和6年度においては、下記のとおり工事を行いました。 （学校施設整備） ● 通話録音装置設置工事 ● 上牧第三小学校図書室空調機設置工事 ● 上牧第三小学校濾過ポンプ・バルブ・チャッキ弁取替工事 ● 上牧第三小学校排煙装置取替工事 ● 上牧中学校南グラウンド改修工事 ● 上牧中学校6号棟普通教室空調機新設工事 ● 上牧中学校体育館床面塗装改修工事 ● 上牧中学校トイレ格子等安全対策工事 ● 上牧第二中学校正門扉改修工事 （備品購入） ● その他各種備品（管理備品、教材備品、特別支援学級備品、保健備品、図書購入費、給食備品、特別活動備品） 【事業費（決算額：R06）】 ・通話録音装置設置工事業（小中学校のみ）：1,091千円 ・小学校管理事業（工事請負費）：4,086千円 ・中学校管理事業（工事請負費）：38,201千円 ・各種備品購入事業：6,361千円	A	【評価の理由・根拠】 施設の老朽化、備品・設備の経年劣化が進行するなか、財政的に学校からの要望すべてには対応できていない状況ですが、優先順位を踏まえつつ、計画的に整備できていたため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 学校施設整備及び備品などの整備を計画的に進めていきます。
		総合戦略 -

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
<b>取組② ICTを活用した教育支援</b>		総合戦略 基本目標.1
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 児童生徒の学習意欲の向上や学力の育成を図るため、情報化の進展、社会環境の変化に対応したICT環境の整備などを推進していきます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 以下のとおり、ICT環境整備及びICT機器の運用面での支援を進めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Chromebook端末の設定変更</li> <li>● タブレットなど各種ICT機器の確保</li> <li>● 貸出用モバイルルーターの確保</li> </ul> <p>（ICT機器の運用面での支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 県域GIGAスクール運営支援センターの整備（協議会参加）</li> </ul> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・ICT事業：5,936千円</p>	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</p>	<p>【評価の理由・根拠】 運用面（ICT機器を活用した授業展開など）においては、ICT支援員の配置を令和4年度で終了し、GIGAスクール運営支援センターの支援に移行していく方針で進めていますが、十分な活用に至っておらず、ICT機器を活用した授業づくりの継続とICTに関する知識やスキルを身につけられる機会の確保が課題となっています。</p> <p>また、協議会に参加し次期校務支援システムの導入に向けたネットワークの整備要件の確認や、児童生徒一人一台端末（Chromebook）の更新に向けて効率的に整備を進められるよう検討を行いました。</p> <p>これらのことから、ICT機器の運用面での支援に課題はありますが、ICT環境整備については検討を進められたため、評価をBとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、ICT環境の整備（維持管理）に努めるとともに、ICT支援員による支援の代替として、GIGAスクール運営支援センターの活用へ移行していけるよう引き続き働きかけていきます。</p> <p>また、ICTに関する知識やスキルを身につけられる機会の確保を図るため、ICTの研修の実施に向けた調整を行います。</p> <p>その他、教職員の業務負担の軽減や児童生徒一人ひとりへの個別最適化した学びの提供を実現するための「校務支援システム」の導入を行います。あわせてネットワーク整備や児童生徒一人一台端末（Chromebook）の更新を行っていきます。</p>
<b>取組③ 学校適正化に向けた協議及び環境整備</b>		総合戦略 -
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 令和4年3月に策定した「上牧町学校適正化基本計画」に基づき、中学校統合を推進するため、「上牧町学校統合準備委員会」を設置するとともに、新たな中学校舎の整備に向け、実施設計業務、新校舎棟新築工事などを行っていきます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 「上牧町統合準備委員会」において、4つの部会（総務部会、学校教育部会、通学部会、PTA部会）を設け、統合に係る諸課題への対応について検討を行いました。</p> <p>また、統合後の新たな中学校舎の整備に当たり、令和5年度に引き続き実施設計業務を行うとともに、令和6年10月からは実施設計をもとに新校舎棟建築工事に着手しました。また、新校舎棟の整備とあわせて、プール施設及び部室棟の整備を追加で行うこととなり、それに伴い、実施設計業務を延長して実施しましたが、工事施工に係る積算業務を予定どおり完了することができました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・学校適正化事業：706,768千円 ・中学校管理事業（上牧中学校グラウンド杭撤去工事）：19,371千円</p>	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</p>	<p>【評価の理由・根拠】 中学校の統合については、ソフト・ハードともに非常にタイトなスケジュールのなかで、課題は残されていますが、現時点において、令和8年4月の統合の見通しを維持できていますので、事業を推進できていると考え、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 「上牧町学校適正化基本計画」に基づき、中学校の統合を円滑に推進できるよう、今後も引き続き、「上牧町学校統合準備委員会」において、統合に係る検討を行います。また、令和7年度においては、引き続き新校舎棟の整備を行うとともに、プール施設及び部室棟の整備に向け、予算化、工事施工を行います。加えて、ネットワーク整備など、校舎整備に付帯する工事の実施や統合に伴う移転業務、閉校行事、備品購入、既存校舎棟の解体、外構整備に係る実施設計業務も行います。その他、小学校の統合方針について、人口動態などの調査を実施し、その妥当性に関し、「上牧町学校適正化協議会」において検証を行ったうえで、最終的な方針を決定します。</p>

# 上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

教育文化

令和6年度事業

## 1. PLAN（計画）

分野	5-4 学校教育	担当課
	② 子どもへの学習支援	社会教育課
施策の展開方向	●すべての児童生徒の学習意欲の向上や家庭における学習習慣の体得を図るため、学習支援の機会の確保と充実に努めます。	

## 2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
専門講座開催回数【回】	○	6 対前年増減→	3 -3	6 +3	6 ±0	6 ±0			6
「まきっ子塾」参加児童満足度【%】	○	- 対前年増減→	- ±0	70.8 +70.8	77.5 +6.7	64.9 -12.6			80.0
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
<b>取組① 様々な専門講座の開催</b>		総合戦略 基本目標.1
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 青少年の健全な育成を目的に、子ども体験学習事業として、青少年に様々な活動や体験学習を実施します。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 令和6年度は、理科の実験・工作教室（3回）、木工教室（1回）、茶道教室（1回）、プログラミング教室（1回）を実施しました。 理科の実験・工作教室では新規の講座として化石のレプリカ作りを行うなど、多様な講座に参加する機会を設けるため、新しい講師を招いて実施することができました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・学校・地域パートナーシップ事業：109千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 令和5年度と同じ開催回数ですが、例えば、木工教室であれば、令和5年度にイス作りを行ったのに対し令和6年度は木の端材を使った自由工作を実施したように、内容に変化をつける工夫を行いましたので評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 理科好きの子どもの育成を目的として引き続き理科の実験・工作教室を主として実施していきます。 また、アンケート結果などを踏まえ、学校の授業では体験できないような専門的な体験講座の開催に努めていきたいと考えます。</p>
<b>取組② 学習支援教室（まきっ子塾）の開催</b>		総合戦略 基本目標.1
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 学習習慣や生活習慣を身につけるとても大切な時期でもある小学1年生から3年生を対象に、家庭学習の定着や保護者の負担軽減を目的としています。水曜日の放課後1時間程度、在籍学校の特別教室などを利用して、学習アドバイザーが宿題や自習活動の支援を行っています。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 令和6年度 参加児童・・・三校合計148名 (内訳) 上牧小学校 37人 上牧第二小学校 40人 上牧第三小学校 71人 実施回数・・・上牧小学校 24回 上牧第二小学校 27回 上牧第三小学校 24回</p> <p>保護者と児童に対してアンケート調査を実施し、148人中94人から回答がありました。おおむね高評価をいただきました。保護者からは「宿題をするように言わなくて済むようになった」「家でゆっくりすごせる時間が増えた」という意見がたくさんありました。家庭学習の定着を目的とした本事業の内容が、各家庭へ浸透しているものと評価できると思います。また、家庭の負担軽減にも効果があったのではないかと感じています。さらに、一部の保護者の意見として、「一緒に勉強するお友達がいるのが、楽しいと言っていました」、「親や学校の先生以外のかたに教わることや、クラスの友達以外のこと学習する経験が積めたことが良かったです。」などの声をいただきました。児童が楽しみながら学習することで、学習への意欲が高められたと考えます。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・学校支援向上事業：5,222千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 保護者と児童に対してアンケート調査を実施し、おおむね高評価をいただいたので評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 児童のアンケート結果で「勉強時間中に周りが騒がしくて勉強に集中できなかった」という回答が複数ありましたが、自分の気持ちや感情をコントロールできないなどの配慮が必要とする児童も増えてきており、現在の自主的な学習活動の支援では対応が難しくなっています。 また、これらを含め、より充実した学習支援のため学習アドバイザーの確保も課題です。 令和7年度でまきっ子塾が開始して10年目となりますが、学習アドバイザーの数を増やすだけでなく、学習支援の方法を検討していく必要があると考えます。</p>

# 上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

教育文化

令和6年度事業

## 1. PLAN（計画）

分野	5-4 学校教育	担当課
施策の展開方向	③ 安心して学べる教育環境の充実	教育総務課
●障がいに応じた特別の指導を行う必要がある児童生徒に対する特別な学習機会の提供に努めます。 ●不登校の児童生徒への支援や就学指導支援体制の充実を図るとともに、児童生徒の様々な悩み（学力・人間関係・いじめ等）に対する相談体制の強化に努めます。		

## 2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
通級指導教員数【人】	○	4 対前年増減→	5 +1	6 +1	6 ±0	5 -1			5
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
<b>取組① 通級指導教室（ペガサス教室）の充実</b> 【取組の概要（背景・目的等）】 平成25年9月に開設した通級指導教室「ペガサス教室」において、個々の教育ニーズに合った指導を行っていきます。 【実施内容・成果（R06）】 令和6年度は、上牧町と河合町で運営を行い、コミュニケーションや学習につまずきを感じている児童生徒（小学生54名（上牧町38名・河合町16名）、中学生16名（上牧町のみ））に対し、指導員が寄り添いながら必要な支援の提供を行いました。 また、就学前の幼児への支援から切れ目なく特別な教育課程による指導を中学校に至るまで展開しているほか、ニーズに応じて指導員が対象児童生徒の在籍校まで赴いて指導を行う訪問型の通級指導についても継続して行いました。 「ペガサス教室」の運営に当たっては、指導方法の創意工夫や他の教職員に対する指導助言などが奏功し、コミュニケーションや学習に課題を抱える児童生徒の成長が見られました。 また、教育相談に丁寧に対応することで、保護者の不安の解消・緩和にもつながったのではないかと考えます。 【事業費（決算額：R06）】 ・通級指導教室（ペガサス教室）運営事業：904千円	A	【評価の理由・根拠】 指導員一人ひとりの尽力により、児童生徒の成長が見られることに加え、丁寧な相談対応により保護者の不安の解消・緩和につながっていると考え、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 今後も継続していきますが、指導時間や回数などの要望がありますので、ニーズに合った指導ができるように検討していくとともに、引き続き通級指導担当以外の教職員の通級指導教室に対する理解を深めていくことや小中学校の連携などに取り組んでいきます。

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
<p><b>取組② 教育相談体制の充実</b></p>		<p>総合戦略 -</p>
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 児童生徒の健やかな心身の育成に資するよう、様々な悩みに対する相談体制の強化に努めていきます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 人間関係や不登校などの悩みを抱える児童生徒や保護者への支援として、県の事業により配置されたスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用し、教育相談体制を構築しました。 また、町の相談窓口も設け、教育総務課で保護者からの電話相談と来所相談を受け付けているほか、中学校においては、心の教室相談員を配置し、よりきめ細かなケアができるよう努めました。加えて、令和4年度からは不登校児童生徒への支援としてフリースクール事業を行っています。居場所づくりや社会的自立を支援するなかで、保護者や児童生徒と面談を行いながら、不登校児童生徒へのよりよいサポートの提供に努めました。</p> <p>社会全体の環境の変化により、悩みや困りごとを抱える児童生徒や保護者は増加傾向にあり、相談内容も多様になっていますが、上記の取組、体制構築を通じて、学校生活や日常における様々な悩みや困りごとの解消・緩和に役立っていると考えます。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・心の教室相談員事業：390千円</p>	<p>A</p>	<p>【評価の理由・根拠】 教育相談体制の構築や、相談窓口での相談、心の相談員の配置やフリースクール事業を通じて、学校生活や日常における様々な悩みや困りごとの解消・緩和につながったと考え、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用、心の教室相談員の配置、フリースクールの運営を通じて教育相談体制の充実に努めます。</p>
<p><b>取組③ 行政・地域・家庭・学校との連携の構築</b></p>		<p>総合戦略 -</p>
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 不登校児童生徒への支援や学校安全の強化を図るため、行政・地域・家庭・学校との連携の構築を推進していきます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 不登校児童生徒への支援として、令和4年9月に開設したフリースクール「Smile Farm かんまき」を継続して運営しました。町内NPO法人との官民連携による運営を通じて、居場所や社会との関わりを持てる場所を提供することで、不登校児童生徒を孤立から守るとともに、学習支援や地域との交流、様々な体験を通じて、学校復帰や社会的自立につなげられるよう支援に努めました。</p> <p>また、事業実施に当たっては、必要な支援を提供するため、フリースクールのスタッフと定期的な意見交換会の実施や学校、家庭と連携を取りながら、児童生徒の受入を行っているほか、令和6年度は、フリースクールの支援を必要としているかたにフリースクールについて知っていただく機会を確保するため、見学相談会やペガサスフェスタへの出展を行うなど、周知に努めた結果、登録者数は過去最高の11名に達しました。</p> <p>その他、中学校を卒業した生徒のうち、事業の対象から外れることで、居場所がなくなり、孤立することが懸念される場合に、特例措置として継続利用できるよう規則改正を行いました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・フリースクール事業：4,692千円</p>	<p>A</p>	<p>【評価の理由・根拠】 効果的な情報発信や規則改正により、これまで以上に支援を届けることができたのではないかと考え、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、不登校児童生徒への支援として、フリースクール「Smile Farm かんまき」を運営していきます。運営に当たっては、試行錯誤のなかで対応しているため、様々な課題がありますが、支援を必要としている児童生徒に支援を届けるため、行政・地域・家庭・学校との連携体制の構築に努めます。</p> <p>また、令和4年度にSPS認証校となった上牧第二小学校と上牧第二中学校においては、さらなる学校安全の強化に努めていくとともに、他の小中学校・幼稚園・フリースクールへの横展開も図っていきたいと考えています。</p>

# 上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

教育文化

令和6年度事業

## 1. PLAN（計画）

分野	5-4 学校教育	担当課
施策の展開方向	④ ふるさと教育の充実	教育総務課
●奈良県や上牧町の現状に向き合い、ふるさとの魅力や普遍的な価値に気づき、ふるさとに対する愛着や誇りを育むことを目的に、職場体験を通じて県や地域、町民、学校が連携したふるさと教育を行い、上牧町の将来を担う人材育成に努めます。		

## 2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
県内企業や地域との交流活動回数（年間）【回】	○	2 対前年増減→	2 ±0	2 ±0	2 ±0	3 +1			3
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
<b>取組① キャリア教育及び職業教育の実施</b> 【取組の概要（背景・目的等）】 上牧町に対する愛着や誇りを育むとともに、働くことの意義や目的の理解、働く意欲や態度を学ぶことを目的に、毎年中学2年生を対象に職業体験を実施していきます。 【実施内容・成果（R06）】 令和6年度においては、下記のとおり職業体験などを行いました。（上牧中学校） 県内最大規模の企業であるDMG森精機株式会社のほか、大和ハウス工業株式会社、大峰堂薬品工業株式会社を訪問し、職業体験を実施しました。（生徒97人参加） 今回は、それぞれの企業の施設見学や従業員のかたから業務内容や開発などに関する説明、体験談などをお聞かせいただきました。貴重な体験をさせていただいたことで、就労に関する理解と意欲の向上につなげることができたと考えます。 （上牧第二中学校） 職業体験として、奈良県教育委員会主催の県内企業訪問によるキャリア形成事業に参加し、DMG森精機株式会社（伊賀事業所）、SINDOYARDS（シンドウヤード）を訪問しました。（生徒37人参加） また、町内事業者（上牧幼稚園、片岡台幼稚園、やまびこ保育園、社会福祉法人郁慈会、上牧町立図書館、西大和片岡台郵便局、MEGAドン・キホーテラスバ西大和店、ディオ上牧店、ファッションセンターしまむら上牧店、柿の葉寿司本舗たなか西和店、株式会社上杉食品、美容院サロンドポプリ）の協力を得て、職場体験を実施しました。（生徒46人参加） 受入先では、保育補助や会議補助、清掃活動、商品管理、接客などの体験を通じて、喜びや達成感を感じるとともに、社会人としての基本的なあいさつや礼儀、マナー、働くことの大切さ、責任感を学ぶことができるなど、参加した生徒の職業観の形成に役立ったと考えます。 【事業費（決算額：R06）】 ・職業体験事業：11千円	A	【評価の理由・根拠】 当該事業については、例年、企業や地域事業者の協力を得て、生徒の就労に関する理解と意欲の向上、職業観の形成に役立っていますが、令和6年度は、県の事業を活用することで事業内容のさらなる充実を図ることができたと考え、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 今後も引き続き、職業体験や職場体験を実施しますが、特に職場体験は、受入事業者の負担が大きくなっていると思われるので、受入先の負担を最小限にとどめられるよう努めます。

# 上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

教育文化

令和6年度事業

## 1. PLAN（計画）

分野	5-4 学校教育	担当課
施策の展開方向	⑤ グローバル人材の育成	教育総務課
	●豊かな語学力・コミュニケーション能力、主体性・積極性、異文化理解を身につけたグローバル人材の育成に努めます。	

## 2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
国際交流事業実施回数（累計）【回】	○	-	-	-	1	2			5
		対前年増減→	±0	±0	+1	+1			
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
<b>取組① 国際交流事業（世界に伍して活躍するグローバル人材の上牧町育成事業）</b> 【取組の概要（背景・目的等）】 学校教育事業の一環として、中学生の外国語に対する興味・関心をさらに深め、他国の中学生との交流を通じて異文化に触れることにより、相互理解の推進、国際感覚豊かな人材の育成を目的として、国際交流事業を推進していきます。 【実施内容・成果（R06）】 令和6年7月に上牧町立中学校の代表生徒25名を台湾・桃園市立桃園國民中學へ派遣し、授業交流や桃園國民中學学生宅でのホームステイ体験を通じて交流を行いました。 当事業の実施により、生徒の外国語や異文化に対する関心・理解度を高めるとともに、学校間の友好関係の強化を図ることができたと考えます。 【事業費（決算額：R06）】 ・国際交流事業：6,738千円	A	【評価の理由・根拠】 派遣生徒が他国の同世代の学生と直接交流し、現地の台湾文化に触れて理解を深めたことで、英語を含む他言語での交流、また国際社会への関心を広げることができたと考え、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 令和7年度は本来、上牧町立中学校が桃園國民中學学生の受入事業を行うタイミングですが、新上牧中学校新校舎の工事期間中であり受入の実施が難しいため、令和8年度以降に交流を再開予定です。
<b>取組② 国際交流授業の実施</b> 【取組の概要（背景・目的等）】 新型コロナウイルス感染症の流行を契機に、他国の中学生との交流機会を確保するため、リモート交流授業を実施していきます。 【実施内容・成果（R06）】 令和6年7月実施の台湾派遣事業で交流した上牧町立中学校の生徒と桃園市立桃園國民中學の生徒が、同年12月にグループ形式で英語でリモートによる授業交流を行いました。 【事業費（決算額：R06）】 ・国際交流事業：475千円	A	【評価の理由・根拠】 台湾派遣時に交流をした生徒同士が互いの近況を確認することで改めて友好を深める場となったと考え、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 今後も引き続き、リモート交流授業を実施する予定です。令和6年度のリモート交流授業では相手の表情や理解度など、画面から読み取り難い部分があったため、さらにスムーズにリモート交流授業ができるよう改善に努めます。

# 上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

教育文化

令和6年度事業

## 1. PLAN（計画）

分野	5-5 就学前教育	担当課
施策の展開方向	<p>① 幼児教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●近年の少子化とニーズの多様化に対応するため、幼児教育の環境の充実を図るとともに、地域や小学校との連携を進めるなど、上牧らしい教育環境整備を推進します。</li> <li>●家庭や地域と幼稚園が一体となって幼児の成長を温かく見守れる教育環境の構築に努めます。</li> <li>●幼児の心身の発達段階を考慮しつつ、のびのびとした環境の中で、幼児の個性や主体性、協調性、社会性の育成に努めます。</li> <li>●障がい児等の受入体制の強化など、幼稚園教育の一層の充実に努めます。</li> <li>●教育環境を充実させるため、施設等の改修や教材の充実に努めます。</li> <li>●教諭と幼児の信頼関係を築き、幼児とともによりよい教育環境を創造するように努めます。</li> <li>●多様化する教育内容に対応できるよう、研修や視察活動などを積極的に取り入れ、教育者の資質の維持・向上を図ります。</li> <li>●就学前の児童に対して、教育、保育等を総合的に推進するため、幼稚園と保育所機能の一体化に向けた取組を検討します。</li> </ul>	教育総務課

## 2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
幼稚園児と小学校児童との交流回数（年間）【回】	○	-	-	1	1	1			3
		対前年増減→	±0	+1	±0	±0			
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
<p><b>取組① 就学前の学習環境の充実</b></p> <p>【取組の概要（背景・目的等）】 生きる力の基礎となる豊かな感性・意欲・態度を養うとともに、幼児の長所や可能性を伸ばすことを目的に、就学前教育を推進していきます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 令和6年度においては、下記の取組を通じて就学前教育の充実を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●英語教育の充実 園児の段階から英語教育や情操教育を推進するため、外国人講師を招き、英語指導をしていただきました。多くの園児が歌やダンスなど、遊びを通じて英語を自然と身につけることができていました。</li> <li>●体育教育の充実 園児の基礎体力の向上を図るため、民間のスポーツ指導講師に授業を担当していただきました。運動が苦手な子どもでもわかりやすい指導で、苦手克服につながり、子どもたちの自信につながっているように思われます。 また、休み時間に体育教室で習った縄跳びや鉄棒などに自分から取り組む姿も見られ、以前より体を動かすことや運動に意欲的な園児が増えてきました。</li> <li>●特別支援教育の充実 支援を必要とする園児に対し、個々のニーズに合った指導をするため、特別支援スタッフを配置し、園児の個性や主体性、協調性、社会性の育成に努めました。園内で指導方針を共有することで、子どもたちが自分で行えることは見守り、困ったときにはすぐに手を差し伸べるなど、それぞれの子どもたちに寄り添った支援ができていると考えます。</li> </ul> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・就学前教育事業（英語・体育）：642千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 英語教育、体育教育、特別支援教育の充実を図ることにより、就学前教育の推進ができたと考え、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、就学前の学習環境の充実を図るため、令和7年度は幼小接続研修を実施するとともに、毎年度実施している保護者へのアンケート（幼稚園運営に関するアンケート）結果を踏まえ、ニーズなどに応えられるよう、新たな取組や改善について検討していきます。</p>

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
<b>取組② 未就学児と地域・小学校の連携事業の推進</b>		総合戦略 -
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 園児（年長児）の小学校生活へのスムーズな移行を支援するため、町内小学校3校と連携を図っていきます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 令和6年度は、幼稚園教諭が小学校3校を訪問し、校内の様子や校長先生、1年生の担任教員からのメッセージなど、撮影したものを編集し、動画にして園児に見てもらったほか、入学説明会の際には、学校体験（半日入学体験）の機会を設けました。 また、お別れ遠足では学校巡りを行うなど、様々な取組の実施を通じて幼・小連携の充実を図ることができたのではないかと考えます。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p>	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</p>	<p>【評価の理由・根拠】 幼稚園教諭が小学校3校を訪問し、校内の様子などを動画にして園児に見てもらったり、学校体験（半日入学体験）、お別れ遠足では学校巡りを行うなど、様々な取組の実施を通じて幼・小連携の充実を図ることができたと考え、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、未就学児と地域・小学校との連携事業を実施するとともに、幼稚園・小学校教員を対象とした幼小接続研修を実施します。</p>

# 上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

教育文化  
令和6年度事業

## 1. PLAN（計画）

分野	5-5 就学前教育	担当課
	① 幼児教育の充実	こども未来課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>●近年の少子化とニーズの多様化に対応するため、幼児教育の環境の充実を図るとともに、地域や小学校との連携を進めるなど、上牧らしい教育環境整備を推進します。</li> <li>●家庭や地域と幼稚園が一体となって幼児の成長を温かく見守れる教育環境の構築に努めます。</li> <li>●幼児の心身の発達段階を考慮しつつ、のびのびとした環境の中で、幼児の個性や主体性、協調性、社会性の育成に努めます。</li> <li>●障がい児等の受入体制の強化など、幼稚園教育の一層の充実に努めます。</li> <li>●教育環境を充実させるため、施設等の改修や教材の充実に努めます。</li> <li>●教諭と幼児の信頼関係を築き、幼児とともによりよい教育環境を創造するように努めます。</li> <li>●多様化する教育内容に対応できるよう、研修や視察活動などを積極的に取り入れ、教育者の資質の維持・向上を図ります。</li> <li>●就学前の児童に対して、教育、保育等を総合的に推進するため、幼稚園と保育所機能の一体化に向けた取組を検討します。</li> </ul>	

## 2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
		対前年増減→							
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
<b>取組① 認定こども園の設置（幼保一元化）に係る検討</b> 【取組の概要（背景・目的等）】 就学前の児童に対して、教育、保育などを総合的に推進するため、幼稚園と保育所機能の一体化に向けた取組を検討します。 【実施内容・成果（R06）】 令和6年度は上牧幼稚園と第1保育所間において職員の間研修会に参加し意見交換及び園舎内の環境見学を行いました。また年長児同士の交流会を年2回実施し遊びを通して交流を深めました。 【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし	B	【評価の理由・根拠】 第1保育所と上牧幼稚園の統合により認定こども園を設置するにあたり、整備にかかる財源や設置場所、時期などの検討を進める必要があると思われるため、評価をBとしています。 【今後の取組方針】 今後も学校適正化の動向を確認しながら、認定こども園設立に向け、情報収集に努めます。

# 上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

教育文化

令和6年度事業

## 1. PLAN（計画）

分野	5-6 文化財	担当課
	① 歴史文化の保全	社会教育課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>●上牧町内に点在する歴史・文化資源の掘り起こしと情報発信の充実に取り組みます。</li> <li>●町民が歴史資産の価値や魅力を再認識し、郷土の誇りとして感じられるように、町民の共有財産として保全し、後世に受け継ぐとともに、魅力の発信に取り組みます。</li> <li>●史跡上牧久渡古墳群の整備及び教材化と文化財等の調査と活用研究を進めます。</li> </ul>	

## 2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
史跡上牧久渡古墳群の整備【%】	○	40.0 対前年増減→	40.0 ±0	50.0 +10.0	55.0 +5.0	60.0 +5.0			100
歴史ガイドボランティアの養成人数（目標年度終了時点）【人】	○	18 対前年増減→	17 -1	16 -1	14 -2	17 +3			30
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
<b>取組① 史跡上牧久渡古墳群を中心とした文化財の保存及び整備の推進</b>		総合戦略 基本目標.3
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 平成27年10月7日に国指定された史跡上牧久渡古墳群の整備を推進していきます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 史跡上牧久渡古墳群整備事業について、令和6年度は古墳群西側一部の擁壁工事等を行いました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・史跡上牧久渡古墳群整備事業：68,886千円</p>	C	<p>【評価の理由・根拠】 令和6・7年度史跡上牧久渡古墳群整備工事において、施工方法を変更した際に、文化財保護法第125条に基づく現状変更の計画変更申請を行わず、承認を受けないまま作業スペース確保のために未承認で切土を行ったため、評価をCとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 無断で切土を行ったことについては、第一に、文化財保護法を遵守していなかったために起こったものです。 今後の対策としては、文化財保護法を遵守し、および現状変更の重要性・制約等について県等の指導を受けていきます。 また、工事内容については社会教育課事務職員では判断が難しい内容もあるので、当町技術職員（土木）を中心に検討し、適切な実施設計を十分に協議したうえで工事を進めていきます。</p>
<b>取組② 歴史ガイドボランティアの養成</b>		総合戦略 基本目標.3
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 町民が歴史資産の価値や魅力を再認識し、郷土の誇りとして感じられるように、町民の共有財産として保全し、後世に受け継ぐとともに、魅力の発信に取り組みます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 令和5年9月に上牧町歴史ガイドボランティアの会を発足し、令和6年度は町内や近隣市町村の歴史や文化財について学ぶ研修会を計12回実施しました。 8月には奈良県ウォーキング協会からの依頼で片岡城跡のガイドを行ったことに加え、河合町の老人ホーム入所者が上牧町内の散策に来られた際に案内を行いました。 さらにベガサスフェスタやさくら祭りでは、ベガサスホールのロビーにおいて、史跡上牧久渡古墳群をはじめとする町内の文化財の解説や、史跡上牧久渡古墳群から出土した画文帯環状乳神獣鏡のレプリカに触れる体験やクイズコーナーなどを設営し、啓発活動を行いました。 また、「WEST NARA（広域観光推進協議会）」へのガイドコースの提案や令和7年4月の大阪万博への上牧町のブース設置に向けて計画を進めました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・生涯学習推進事業：41千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 外部からのガイド依頼があれば積極的に取り組んでいただいています。またベガサスフェスタなどで幅広い世代に積極的な啓発をしていただいておりますので、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 外部からのガイド依頼があれば積極的に受けて、経験を積んでいただく予定です。 また、町内のガイドツアーの企画など、会が自主的に運営できるよう活動を進めていきます。</p>

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
<b>取組③ 片岡城跡をはじめとする文化財の活用に関する調査・研究</b>		総合戦略 -
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 片岡城跡をはじめとする文化財などの調査と活用研究を進めていきます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 片岡城跡については、歴史的価値の把握に努めながら、今後の保存活用の方向性を検討していくために、「上牧町片岡城跡活用検討委員会」を立ち上げ、学識経験者を含む委員16名で年に5回委員会を開催し、1月27日に答申を町長へ提出しました。また、委員長の中井均先生には7月2日にベガサホールにて歴史講演会「信長と戦った片岡城」と題して片岡城の歴史を広く住民に講演していただきました。</p> <p>令和5年度から北葛城郡4町「すむ・奈良・ほっかつ事業」の一環として、「御墳印帖プロジェクト」が始まりました。このプロジェクトは、各町の御墳印対象史跡を訪れ、写真撮影を行い、各町指定の施設で写真を見せることで、御墳印を購入することができるものとなっています。</p> <p>上牧町では史跡上牧久渡古墳群と片岡城跡の2箇所を御墳印の対象史跡にすることで、町内外の多くのかたに片岡城跡へ足を運んでいただくことができました。</p> <p>普及啓発においては、8月に奈良県コンベンションセンターで開催された「奈良の鉄道で巡るお城・再発見！2024」、9月には唐古・鍵遺跡史跡公園で開催された「第13回おもしろ歴史フェスティバル」にブースを設置し、来場者への案内を行いました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・片岡城跡活用検討事業：343千円</li> <li>・史跡&amp;遺跡巡り「御墳印帖」プロジェクト事業：61千円</li> <li>・文化財保護事業：3,177千円</li> </ul>	<p><b>A</b></p>	<p>【評価の理由・根拠】 「上牧町片岡城跡活用検討委員会」を立ち上げ、学識経験者を含む委員16名で年に5回委員会を開催し、1月27日に答申を町長へ提出をし、今後の方向性を検討することができましたので、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 片岡城跡については、答申内容としては、発掘調査及び文献調査の実施、眺望の整備、維持管理、地籍調査、活用について意見をいただきました。これをもとに着実に進めていきます。</p> <p>また、「御墳印帖プロジェクト」については、新しい遺跡の御墳印を作成予定です。歴史ガイドボランティアと共に、積極的に普及啓発を行って行く方針です。</p>